



今後のみみはらをささえる

一步一步、前進中

新人看護師たちの今



看護師研修で熱心にトレーニングに励む



また看護対策では、例年、新人看護師を対象とした「あおむしカフェ」を企画していました。仕

不安いつぱいの
最初の3カ月

10都道府県に出されていた緊急事態宣言は6月20日に沖縄県を除いて解除となり、まん延防止等重点措置へと移行になりましたが、「第5波」を警戒する医療現場では、なかなか気の緩むタイミングが見つかりません。緊急事態宣言などの影響で、実習に行くことも少なく、卒業し、就職したため、不安いつぱいで過ごしてきた新人たちも、早3カ月目を迎えることになりました。

新人看護師の声

3カ月が経ち、病棟の雰囲気にも慣れ、毎日新鮮で、楽しく過ごしています。はじめは、できなかったことも、先輩たちにフォローしてもらい、できることが増えてきました。患者さんに「あなたの顔を見ると、心が穏やかになる」と言われ、うれしかったです。(12階病棟)

看護師の動きと患者さんの病態とを実際に繋げることが、なかなかできず、はじめは大変でした。3カ月が経って、少し慣れ、できることが増えてきました。まだまだ、わからないこと、戸惑うことも多いですが、先輩に相談しながら、学びを深めていきます。(11階病棟)



「カフェのデリバリー、

事終わりに、出入り自由とした立ち寄り場所を作り、ホッとした空間づくりを行っていました。コロナの影響により、現在、休止中となっています。そこで、「カフェのデリバリー」と称して、お菓子とスティックコーヒーなどを用意し、個々に持って帰ってもらえるように変更しています。職場ラウンドも行い、様子を見て回り、近況を聞いてみたりしていますが、にっこり笑顔で「少し慣れました!」と返答してくれています。少しでも安心して働き続ける事が出来るよう、みんなで支えていきたいと思います。

みみはら 十人十色

シリーズ
みみはらの人 ⑰



佐野 篤さん
耳原総合病院 薬剤師

薬でお困りになったら、いつでもご相談を

京都府京都市出身。「患者さんのために」を一番に考えて、薬剤師として活動されています。子どもさんの時間が一番の息抜きとのこと。優しい笑顔の薬剤師さんです。

今回の「みみはらの人」は、耳原総合病院の薬剤師の佐野篤さんです。同仁会では、11年の経験があるベテランです。

—今の職業を選んだきっかけは?

実家が化粧品や日用品販売店で、薬局と間違えられることが多く、薬に興味を持ちました。

—どんな仕事をしていますか?

当院は総合病院のため、様々な診療科があり、薬剤科内の5〜6人程度でチームを組み、それぞれの担当病棟もついています。私は緩和ケア、外科、整形外科、小児科病棟をチームで担当しており、その中でも緩和ケア病棟を主に活動しています。

—薬剤に関して不安や困

ったことがあれば、そのつど対応させていただきます。症状緩和に努め、安心して療養できるように努めています。

—この仕事をしていて「良かったと感じること」や「やりがい」は?

自分の説明や対応で、患者さんやご家族に薬のことで安心していただけた時は、うれしいです。

—大切にしていること、ものは?

患者さんのために行動できているかということ、常に考えています。

—「座右の銘」は?

「継続は力なり」

—休日の過ごし方は?

子どもと一緒に公園に行って遊んで、楽しく過

—ストレス発散法は?

テニスで身体を動かして、汗をかくことです。最近は、子どもと遊んだり、家族と過ごす時間が、息抜きになっています。

—あなたにとって「みみはら」とは?

患者さんのかかわりの中で学ぶことが多く、薬剤師としての活動の幅を広げてくれたところです。

—友の会や患者・利用者さんへの期待や伝えたい思いなどを教えてください。

薬でお困りのことがあれば、いつでも相談してください。